

計画の対象

0歳からおおむね18歳までのすべての子ども

数値目標

指標項目	現状値 (H28)	目標値 (H34)
「おひざで絵本」事業での絵本配付率	92.1%	96%
読書を「好き」と答えた児童・生徒の割合 (小6・中3)	小6 80.1% 中3 72.9%	小6 90.9% 中3 80.7%
一日あたりの読書時間が「10分以上」と答えた児童・生徒の割合 (小6・中3)	小6 65.5% 中3 50.7%	小6 68.5% 中3 53.7%
市立図書館における児童書の蔵書冊数 (0~12歳一人あたり)	209,482冊 (4.89冊)	227,482冊 (5.96冊)
図書館分室における児童書の貸出冊数	20,830冊	21,730冊
市立図書館おはなし会参加者数	2,610人	2,832人
読み聞かせを行う市立公民館数 (割合)	25館 (86.2%)	29館 (100%)
「学校図書館図書標準」達成学校数の割合	小学校 96% 中学校 75%	小学校 100% 中学校 100%

発行：長野市教育委員会
 編集：長野市教育委員会事務局 家庭・地域学びの課
 〒380-8512
 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
 TEL:026-224-5082 FAX:026-224-5104

<http://www.city.nagano.nagano.jp/>
 E-mail:manabi@city.nagano.lg.jp



読書で育む 生きる力

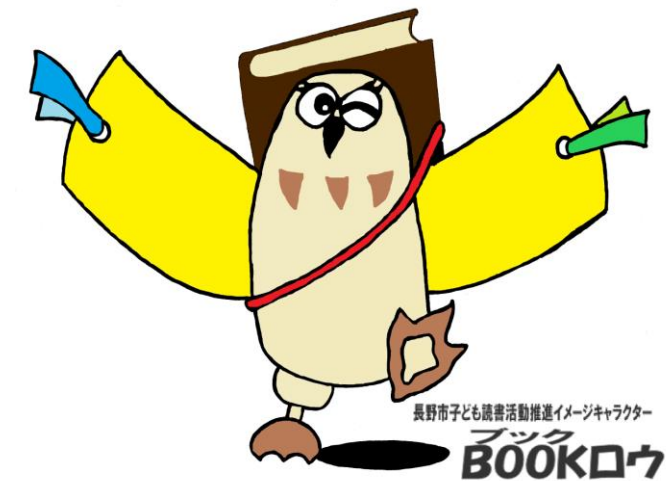
概要版

第三次 長野市子ども読書活動推進計画

(計画期間：平成30年度～平成34年度)

子どもは読書を通じて言葉を覚え、考えることや表現することを学び、自ら進んで知ることの楽しさを体験します。また、1冊の本との出会いが、その後の人生を支えたり、生き方を変えたりすることもあります。

長野市では、子どもの読書への意欲を向上させ、また、主体的に読書に親しむ習慣を身に付ける環境づくりを進めるため、「第三次長野市子ども読書活動推進計画」を策定しました。



長野市教育委員会

基本的視点

【基本的視点1】 読書に親しむ環境の充実

子どもが最初に読書の楽しさを知る場である家庭をはじめ、家族も子どもと一緒に楽しむことができるよう、環境づくりに努めます。

【基本的視点2】 家庭・学校・地域の連携の推進

読書を習慣とするために、家庭・学校・地域が連携・協力し、積極的に子どもの読書活動を支援します。

【基本的視点3】 普及・啓発活動の促進

子どもの読書活動の意義や重要性について、情報提供や普及啓発活動の充実を図ります。

子どもの読書活動推進のための施策

この計画は、平成25年に策定した「第二次長野市子ども読書活動推進計画」の取組の成果と課題、また、子どもを取り巻く情勢の変化等を踏まえ、今後5年間に長野市が取り組む子どもの読書活動に関する施策の方向性を示すものです。

★=新規取組

家庭における読書活動の推進

具体的な取組

- おひざで絵本事業の推進・充実
- ★家族の関わりを促進するための啓発活動の実施
- ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介
- 妊産婦等への啓発パンフレットの配布



など

教育・保育施設等における読書活動の推進

具体的な取組

- 保育所・幼稚園・認定こども園・子ども広場・地域子育て支援センター等での読み聞かせの実施
- 園だより等での読書に関する情報提供
- 絵本コーナーの充実、絵本の紹介・貸出し



など

学校等における読書活動の推進

具体的な取組

- 全校一斉読書の実施
- 読書週間・読書旬間の設定
- 学校図書館の図書資料の充実
- 公立図書館との連携
- 学校図書館の運営に携わる職員の研修機会の充実
- ★読書を通じた国際感覚形成等の促進
- 放課後子ども総合プラン施設での読み聞かせ



など

市立図書館等における読書活動の推進

具体的な取組

- 子ども向け行事の実施及び保護者への啓発
- 児童向け図書館だよりの発行、ホームページへの掲載
- 児童書コーナーや青少年向けのテーマ本コーナー等の設置
- 点字図書・録音図書制作ボランティアの養成
- 公民館等社会教育施設での読み聞かせの実施
- ★読書を通じた国際感覚等の形成
- 図書館分室の整備及び利用促進



など

関係機関の連携と普及啓発の推進

具体的な取組

- 学校図書館に関する相談体制の整備
- 読み聞かせボランティア等養成講座の開催
- ★ICTを活用した子ども読書活動の啓発
- 長野市子ども読書デーにおける啓発活動の実施
- 読書活動推進イメージキャラクターの活用



など

